

北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成19年4月
第6号

日本環境安全事業(株)(JESCO)が、室蘭市仲町で行う北海道PCB廃棄物の処理事業について、事業が安全、確実かつ適正に行われるよう、北海道と室蘭市では、処理施設の整備や操業、処理事業における情報公開の監視などを行う『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しております。

今回は、平成19年3月15日開催の第6回監視円卓会議の内容を中心にお知らせするとともに、本年10月の操業開始に向けて着々と進む処理施設建設工事の進捗状況や事業開始に向けた取組みなどもお知らせします。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第6回)について

平成19年3月15日(木)午後2時より、本年10月を予定している本格稼働からPCB処理の情報発信拠点となるPCB処理情報センターにおいて、第6回監視円卓会議を開催しました。

監視円卓会議には、委員10名のほか、オブザーバーの環境省、JESCO、事務局(北海道・室蘭市)などから20名が出席し、3月から始まった試運転に関する計画や進捗状況などの説明、それらに関する意見交換のほか、処理施設の視察が行われました。

【会議の概要】

- 1 第5回監視円卓会議議事録等について**
第5回監視円卓会議(12/20開催)の議事録が承認されました。
また、前回会議及び事前に質問に出していた内容についての説明及び質疑が行われました。
- 2 北海道事業の進捗状況等について**
現在までの円卓会議等の開催状況、操業に向けた協議や処理施設建設工事などの進捗状況、豊田事業所の運転停止について、JESCOから説明がありました。
また、今年度のこれまでの環境モニタリングの結果について説明が行われました。
- 3 PCB処理施設の試運転について**
本年10月を予定している本格操業に向けた試運転とそのために行われる収集運搬の計画について、具体的なスケジュールや目的などについて説明が行われました。



(上:円卓会議の状況、下:処理施設視察の状況)

- 4 処理施設見学**
現在建設中のPCB廃棄物処理施設の視察が行われました。視察は見学者ルートから、試運転を目前にした工事が進む中で行われ、処理施設の概要について説明を受けるとともに、安全性の確保などについて質問が活発に行われ理解を深めました。

主な議事等の内容

進捗状況などについて（平成18年～現在）

（1）安全確実な事業実施に向けたこれまでの取組経過

主な内容の区分	進捗状況・開催状況	
施設の建設	平成18年 2月 8日	P C B 処理施設建設着工
	平成19年 2月23日	P C B 処理施設への受電開始
	3月22日	試運転開始
円卓会議	平成18年 1月30日	第2回（環境モニタリング計画、環境保全協定締結報告など）
	3月 8日	大阪・豊田事業所視察（委員2名参加）
	4月27日	第3回（大阪・豊田事業視察報告、建設状況現地視察など）
	8月 3日	第4回（豊田・東京事業事故報告、環境モニタリング方法など）
	10月30日	北九州事業所視察（委員4名参加）
説明会など	平成18年 12月20日	第5回（北九州事業視察報告、受入基準、受入計画など）
	平成18年 3月27日	第6回広域協議会（受入基準など）
	8月30日	第7回広域協議会（受入基準、情報センター展示内容など）
	11月21日	第8回広域協議会（受入計画、受入基準、実務要領など）
	12月15日	P C B 廃棄物処理事業に関する説明会（函館市）
	12月18日	P C B 廃棄物処理事業に関する説明会（室蘭市）
	平成19年 3月22日	第9回広域協議会（搬入計画、試運転計画など）
3月23日	P C B 処理事業に関するセミナー（講演・施設見学）	

（2）豊田 P C B 廃棄物処理施設の運転停止についての報告

豊田事業所について、本年1月に発生した冷却水の漏水事故により、施設の改善等で運転再開が4月末となることや、安全確保のための対応策を北海道事業にも反映させていくことなどが報告されました。

（3）環境モニタリングについて

【施設周辺の状況】

P C B 及びダイオキシン類・・・全ての調査地点で環境基準等を下回るものとなっています。
ベンゼン・・・一部高い濃度が認められましたが環境基準(年平均値)を下回る見通しです。

P C B 処理施設の試運転について

今年10月に予定されている操業開始に向けた試運転についての計画が報告されました。

1 目的

P C B 廃棄物処理施設の性能や安全性の確認をはじめ、保管事業場から処理施設までの P C B 廃棄物の安全な収集運搬及び緊急時における対応について確認すること。

2 試運転概要

3月から9月までの6ヶ月間の予定で、段階的に操業状態に近づけていきます。P C B を使用した試運転は、室蘭市内に保管されているものを中心に8月から行い、安全・確実に処理できるか、排気や排水などが全ての基準に適合しているか、解体作業を行う管理区域内の P C B 濃度が基準に適合しているかなどについて確認します。

3 収集運搬

収集運搬は廃棄物処理法に係る収集運搬業の許可や J E S C O から入門許可を受けた業者が行います。搬入経路は、操業開始後と同じ経路（国道36号、37号を経由し、仲町ランプから処理施設に搬入する経路）を使用し、運行状況は衛星を利用した位置確認システム（GPS）で把握します。

4 緊急時対応と作業員に対する教育訓練

緊急事態を想定した対応訓練や通報訓練を行い、確実な緊急時対応の体制を整備するほか、運転会社の作業員に対する教育訓練や他事業所において現地研修を行うなど、安全確実な処理体制を構築します。

【P C B 処理施設の試運転スケジュール】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
試 運 転 工 程		機器調整運転		P C B を使用しない試運転		P C B を使用した試運転			本格操業

委員からの主な質問と回答

第5回監視円卓会議議事録等について

(質問) 委員

第3回の円卓会議で引渡し性能試験結果そのものを公表してほしいと要望していたが、北海道事業も引き渡しの時期が近づき、豊田事業の事故など、不具合も生じていることから、重視する必要があり、公表についてもう一度検討いただきたい。

(回答) J E S C O

北海道事業所は、過去の反省に立って、一番いい形で色々なことをやっていきたいので、法律や条件があり制約があるが、その中でできる限り対応していきたい。

(委員長)

J E S C Oの方で、具体的にどういうことをどうチェックしたという資料を提供いただけるよう期待する。



(質問) 委員

施設の周辺住民に対する健康チェックですが、施設稼働前と稼働後に実施する必要があると思われる。

安全・安心という観点から考えてほしい。

(委員長)

通常運転でない事態が起きた場合には健康チェックを行うとは思いますが、そういう事態が発生しないように施設の計画や管理を前提にしている。

(意見) 委員

焼却炉や有害物質を扱う施設は他にもあるので、同様に排出されるものを監視し、異常がないかどうか厳しくチェックすることで良いと思う。P C B施設だけ、常時健康チェックをすることになればかえって住民に不安を与えないか。

(委員長)

健康チェックは、人権とか個人情報の問題もあり、注意が必要である。

(意見) 委員

市民に呼び掛けて参加してもらおう方法もある。

(委員長)

この円卓会議での議論は、議事録が作られ公開される。市民の皆さんに大学等の研究ネットワークに参加いただくなど検討いただければと思います。

道や室蘭市で何か検討されているかもしれませんが、健康調査なり、何かで工夫できれば良いと思う。

北海道事業の進捗状況等について

(質問) 委員

豊田事業所の破損事故について説明願います。

(回答) J E S C O

熱交換器の中の銅製の冷却管が、内部の圧力が高くなり、そのうちの1本が破裂しました。原因は専門会社に依頼しましたが、まだ特定できていません。

(質問) 委員

豊田事業所における運転会社職員の現地研修の時には、施設が運転停止中だが研修はできたのか。

豊田事業所における破損事故から2ヶ月たってからの報道発表は遅いのではないかと。また、北海道の安全設計については、豊田の事故を勘案しているのか。

(回答) J E S C O

現地研修は、豊田事業所の稼働している施設において実施した。豊田事業所の事故時の対応は、直ちに豊田市に報告し、立入調査を受けた。

その後、保管事業者にも説明を行い、地元の方には「豊田事業だより」で状況報告しておりましたが、復旧には4月末までかかるということから、市の指導もあり、広く発表することにしたものである。

今後はどういう形で発表するか整理し、遅かったと批判されないようにしたい。

今回の事故の特定は難しいが、安全設計については、原因を可能な限り想定して対応している。

P C B廃棄物処理施設の試運転について

(質問) 委員

緊急事態の考え方にもレベルがあり、一律に我々が受け取ると誤解する。緊急度に応じて、レベル1とか2というレベル分けによる強弱をつけて情報提供することを検討いただきたい。

(回答) J E S C O

私ももそのようなことが必要だと考えている。発生した現象に応じてレベル分けを行い、それに対応した緊急連絡や対処の仕方を行うことを考えている。

(質問) 委員

試運転の途中経過を公表してほしいのと、試運転時に周辺住民にも知らせず避難訓練をした方がいい。

(回答) J E S C O

試運転の途中で円卓会議が開かれますが、その時に中間報告をします。また、P C Bを入れる前の段階で、消防署と連携し訓練を行います。また、連合町会の方にも参加いただければと考えている。



北海道事業の進捗状況について（最新の話題など）

円卓会議委員による処理施設の視察（3 / 15）

3月15日の円卓会議終了後に、試運転に向けて工事が進められているPCB廃棄物処理施設の視察を行いました。

視察は、施設内を見学することができる見学者ルートにおいて行われ、実際に処理を行う機器や設備を見ながら、PCB廃棄物の処理工程等の説明を受けるとともに、委員からは安全性の確保について質問が活発に行われました。



（委員による処理施設視察状況）

北海道PCB廃棄物処理事業に係る広域協議会（第9回）の開催（3 / 22）

平成19年3月22日には、室蘭市において、広域処理体制について協議・調整を行う広域協議会が開催され、北海道及び15県、室蘭市が出席し、3月から始まる試運転や収集運搬についての計画、早期登録制度などについて協議が行われたほか、フェリー等の船舶輸送による広域的な収集運搬体制を確保するため、今後も国に働きかけを行うことなどが了承されました。



（広域協議会の会議の様子）

PCB廃棄物処理に関するセミナー・処理施設見学会の開催について（3 / 23）

室蘭市のPCB処理情報センターで、市民など道民向けのセミナーと処理施設見学会が行われ、約130名の参加者が3名の講演に熱心に耳を傾けていました。

PCB廃棄物処理に関するセミナー

「PCB廃棄物処理事業の推進」 / 北九州市環境局 柴田主幹

平成16年から操業している北九州事業の経緯など御講演いただきました。

「国内のPCB廃棄物処理の状況について」 / 環境省産業廃棄物課 横井補佐

全国のPCB処理事業の進捗状況や国の考え方など御講演いただきました。

「北海道事業について」 / 日本環境安全事業株式会社北海道事業所 油井所長

北海道事業の安全設計に対する考え方や試運転の内容など御講演いただきました。

処理施設見学会

セミナー終了後、参加者は一般に初めて公開された工事中の北海道事業所処理施設の見学者ルートから、コンデンサの解体エリアや液処理エリアなどを見学し、処理設備や安全対策などの説明を受けて理解を深めました。



（PCBセミナーの様子）

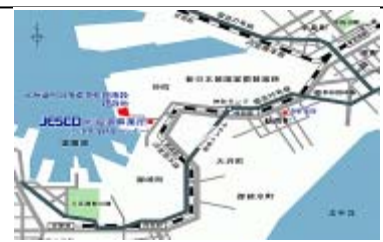
PCB廃棄物処理事業に関するお問合せ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所

〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8 (PCB処理情報センター内)

TEL : 0143-22-3111 FAX : 0143-22-3001

日本環境安全事業株式会社ホームページ <http://www.jesconet.co.jp/>



PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問合せ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : 011-231-4111(24-312) FAX : 011-232-4970

E-mail : kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kseikatu/ks-khbts/index.html>

室蘭市企画財政部企画課（環境産業推進）

〒051-8511 室蘭市幸町1番2号

TEL : 0143-25-2704 FAX : 0143-24-7601

E-mail : kikaku-ei@city.muroran.hokkaido.jp

<http://www.city.muroran.hokkaido.jp/main/index.php>

試される大地
北海道



「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道と室蘭市のホームページでご覧いただけます。

また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンター（中央・中島・東）でも配布しています。